科目ナンバリング	U-LAS02 10030 LJ35						
授業科目名<英訳>	日本・東洋音楽史 II History of Japanese and East Asian Music II			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 鈴木　聖子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

テーマ：20世紀日本の音楽における民族的アイデンティティ構築の歴史
日本の伝統的な音楽と民族的アイデンティティの関係を検討するため、特に伝統的な音楽が保護政策や音楽研究によってどのように価値を与えられてきたかを事例として考察する。

[到達目標]

民族的アイデンティティと日本の伝統的な音楽の関係について理解し、伝統音楽の現在性を考察することができるようになる。

[授業計画と内容]

1.イントロダクション：「日本音楽」とは何か
2.問題提起：伝統音楽の民族誌的近代
3.明治（1）：近代における音響空間の制度化
4.明治（2）：国歌と集合的記憶
5.明治（3）：「日本音階」の誕生
6.明治・大正・昭和前期（1）：「日本音楽」「東洋音楽」の進化論
7.明治・大正・昭和前期（2）：「邦楽」「洋楽」（1）
8.明治・大正・昭和前期（3）：「邦楽」「洋楽」（2）
9.明治・大正・昭和前期（4）：「民謡」
10.昭和後期（1）：「フォークソング」
11.昭和後期（2）：「シルクロード」の音楽幻想
12.事例研究・実習（1）
13.事例研究・実習（2）
14.事例研究・実習（3）
15.フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（20点）、レポート試験（80点）

[教科書]

パワーポイントと音響映像メディアを使用する。

[参考書等]

（参考書）
阿部勘一・細川周平・塚原康子・東谷護・高澤智昌 『ブラスバンドの社会史 軍楽隊から歌伴へ』（青弓社、2001年）
宮本直美 『正統な音楽・非正統な音楽――文化政策の公的承認機能』

日本・東洋音楽史 II(2)へ続く↓↓↓

日本・東洋音楽史 II(2)

東谷護編著 『拡散する音楽文化をどうとらえるか』（勁草書房、2008年、79-105頁）
奥中康人 『国家と音楽――伊澤修二がめざした日本近代』（春秋社、2008年）
塚原康子 『明治国家と雅楽-伝統の近代化 / 国楽の創成』（有志舎、2009年）
寺内直子 『雅楽の〈近代〉と〈現代〉――継承・普及・創造の軌跡』（岩波書店、2010年）
渡辺裕 『日本文化モダン・ラプソディ』（春秋社、2002年）
渡辺裕 『サウンドとメディアの文化資源学――境界線上の音楽』（春秋社、2013年）
鈴木聖子 『＜雅楽＞の誕生：田辺尚雄が見た大東亜の響き』（春秋社、2019年）
鈴木聖子 『「日本音楽」の分析から「民族の特性」の説明へ――田辺尚雄の日本音楽論と心理学」（第三章）』
西田紘子・小寺未知留編著 『音楽と心の科学史 : 音楽学と心理学が交差するとき』（春秋社、2023年、119-147頁）

[授業外学修（予習・復習）等]

日本の伝統的な音楽について、受講期間中に必ず一つは生演奏を聴く経験をもつこと

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]